

第3回 神社小学校・大湊小学校統合準備会 会議録（要旨）

1. 日 時 平成25年10月7日（月）午後7時30分から午後8時45分
2. 場 所 神社小学校 図工室
3. 出席者 委 員 19名
事務局 7名
その他 0名
傍聴希望者 0名

4. 議題等

- (1) 統合校の建設地の選定について
- (2) その他

5. 会議内容

- 会 長 — 会議の「公開」「非公開」について —
前回の会議で諮らせていただいたが、統合校の建設地の選定の第1段階の「建設候補エリア」から第2段階の「建設地」の協議になる。
統合までのスケジュールに影響することが懸念されることから、前回、協議したとおり本日の会議は「非公開」としてよいか。
- 各委員
会 長 異議なし。
では、本日の会議は「非公開」とする。
また、本日の協議事項については、他の方へのお話は、ご遠慮いただくということで、委員の皆さんの心の中でとめて置いていただきたい。
- 会 長 — 開会宣言 —
ただ今から「第3回 神社小学校・大湊小学校統合準備会」を開催する。
- 会 長 — 統合校の建設地の選定について —
本日の議事は、前回に引き続き、「統合校の建設地の選定」になる。
前は、候補エリア提案の協議の中で、「小学校の敷地面積」「馬瀬川」「土地の安全性」「排水」「防犯上の問題」等いろいろな質問や意見をいただいた。そして、エリア②としたうえで候補地を検討することで良いという確認がされた。
では、候補エリアについては確認されたが、事務局で、前回の協議内容を踏まえて、「建設候補エリア」及び「建設候補地」について、再度説明をお願いしたい。
- 事務局
会 長 【資料9】により「建設候補エリア」についての優先順位や、その根拠を説明。
事務局の説明について意見や質問はあるか。
委 員 学校の適正化なので、利便性が重視されるべきではないか。津波は校舎の高層化等である程度カバーできると考えると、エリア①を2番、エリア③を3番にするのが妥当なのではないか。
- 委 員 河口からの距離で、比較する河川が異なるのは、エリアから1番近い河川を挙げているのか。
- 事務局
委 員 エリアからの距離で河川を考えている。
事務局案が良い。

委員 津波浸水深が2～4メートルが「△」で、2～3メートルが「○」であるが、そんなに差はないのではないかと感じる。

事務局 今のように、事務局の評価についても意見をいただきたい。

会長 浸水深の評価は全て「○」で良いか。

各委員 異議なし。

会長 浸水深は、すべて「○」に訂正する。

事務局 浸水深を「○」に訂正すると、エリア①・③が同じ評価となる。

会長 では、エリア②を1番、エリア①と③を2番、エリア④を4番として良いか。

各委員 異議なし。

会長 次に、事務局より「建設候補地」について説明をお願いしたい。

事務局 会長 委員 【資料10】【資料11】により「建設候補地」について説明。事務局の説明について意見や質問はあるか。

委員 エリアで順位を決めたので、各候補地で順位を決める必要があるのか。

事務局 先程、エリア②と決まったのでエリア②内の候補地を重点的にお願いしたい。

委員 候補地Cはこの区画を考えているのか。候補地の区画の議論をしていきたい。

事務局 事務局案ではこの区画を考えている。

委員 私、考えているのは事務局案のひとつ東側に寄った区画である。区画が変わることで、評価が変わってくる。

事務局 候補地Cの議論を最初からすべきである。

委員 候補地Cの説明に移るので、区画も含め協議いただきたい。

事務局 また、今後進めていく中で、選定した候補地Cの取得ができない場合にはまた委員の方に相談させていただく。

会長 では、事務局より候補地Cの説明をお願いしたい。

事務局 会長 委員 【資料12】【資料13】【別添資料】により候補地Cについて説明。

委員 都市計画法で制限がかかっているのは、理解している。しかし、学校を建てる事は50年、100年に1回のような出来事である。年数がかかっても、一番適しているところに建てるべきである。可能性はゼロではないのではないかと。都市計画の用途地域も、昔と今では異なっている。実際が変わってきているという事である。少しでも可能性があれば努力していくべきではないか。何か方法があるのではないかと。

事務局 学校が建てば、周辺に影響が出てくる。周辺の土地の発展性も考えていくべきである。

委員 用途地域を含む場所において、その過半数を超える面積が用途地域でない場合は建設することは可能であるということは確認している。しかし、都市計画課の方からその方法を利用してまで工業地域に学校を建てるのが適切であるのかどうか、という意見をいただいている。

事務局 都市計画の用途地域を変えることが、大変なことは分かっている。しかし、それでも頑張って進めてほしい。

委員 工業団地ができたのは、今から40年も前である。その時と時代は変わってきている。住宅化も進んできているので、都市計画も現在の用途に合ってきていな

いのではないか。

委員 提案の区画が東側に寄れば、交通量が少ない通学路を使用することができるので良いのではないか。

副会長 工業地域には現状学校が建てられないが、今後都市計画課との交渉で変更が法的に可能なのか。可能であれば、どのような手続きで期間はどれほどかかってくるのか。この会議で工業地域を含む区画に決まった場合、実現可能なものなのか。

事務局 都市計画課に必要期間等を再度協議、確認していく。

委員 学校が民家に接すると砂ぼこりや放送の騒音など心配事が多くなる。区画を寄せることで時間がかかり、時期が大幅に遅れてくるようであれば話は違ってくるが、可能であれば工業地域を含む区画へ寄せるほうが民家から少し離れて良いのではないか。もう一度その部分の確認をお願いしたい。

委員 都市計画課の方に、会議に来てもらい説明を受けることは可能か。

事務局 そのことも含め、再度協議していく。

会長 次に、(2)番のその他は、事務局から何かあるか。

事務局 特になし。

事務局 — 日程調整 —

事務局 次回、12月初旬頃を考えている。

会長 各委員のスケジュールを確認後、日程調整させていただきたい。詳細が決定次第ご連絡させていただく。

会長 次回は、12月初旬頃午後7時30分から大湊小学校区で開催する。

会長 次回も引き続き、統合校の建設地の選定となる。

会長 — 閉会 —

会長 第3回 神社小学校・大湊小学校統合準備会を終了する。